

## 100点満点の挨拶！

社会で求められる力には何があると思いますか？皆さんが勉強している専門性や基礎的な知識・技術、正しく情報を入手し、伝える力など様々考えられますが、私はその一つに「気持ちの良いあいさつ」があると思っています。あいさつは漢字で「挨拶」と書き、「心を開いて相手に近づく」という意味があります。想像してみてください。社会人の皆さんが朝出社した時に上司や同僚と会ったときどうしますか。

- ① 気づかないふりをして通り過ぎる。
- ② 相手があいさつしてくれたら、あいさつを返す。
- ③ こちらから、あいさつをする。



人間関係のコミュニケーションの初めに行われるものが挨拶で、挨拶ができない人は自分の評価を下げてしまうことがあることを理解し、「気持ちの良い挨拶」を心がけてください。荒工生は、友達はもちろん、何かの用で来校している外部の人にもしっかりと挨拶ができるようになってください。皆さんは社会に出るための準備を荒工でしています。目も合わせずに言っているだけ、ボソボソっと呟くだけのあいさつは「気持ちの良い挨拶」とは言えません。

- 相手をしっかり見て
- 相手に聞こえる声で
- 自分から（挨拶を返さない人には挨拶をしないという考えはしない）
- 挨拶は「言葉が先、お辞儀が後」（相手をしっかり見て挨拶ができないので）

朝の登校時に皆さんの挨拶を見に行きます。「**一旦止まって！気持ちの良い挨拶！**」ができれば**200点満点の挨拶**です。楽しみにしていますよ。

## ぶらり、あらこう散歩

【全日制】コロナ禍の影響により今年度の体育祭も中止とし、代わりに学年別の球技大会を実施しました。行事では、教室での授業とは違った皆さんの今（生の心）を感じ取ることができます。例えば、楽しそうでない、つまらなさそう、どこか元気がない、などなど。反対に、雰囲気盛り上げようとしている。果敢にチャレンジしようとしている。失敗した友達を気遣うなどは「キラッキラッ」に伝わってきます。



当日は、そんな皆さんの様子を、運営に携わってくれた先生方以外にも多くの先生方が授業の合間に見に来ていました。皆さんは、各学年、各学科の生徒である前に、都立荒川工業高校の生徒だと改めて感じました。皆さんは先生方に見守られていますよ。

【定時制】金融教育研究校の取組として、金融広報アドバイザーを外部講師としてお招きし「ライフプランの設計」の授業を行いました。アドバイザーから、一生懸命に働いているのに、お金で苦労する人の特徴や、お金と上手に付き合う方法について教えていただきました。また、自分が社長であると仮定して、高い給料を払ってもよいのはどんな社員かを考え、将来の準備として高校時代にすべきことは何かを学びました。



皆さんは、工業高校で専門性を学んでいます。その学びは、誰でもできる簡単な仕事につながっているのではなく、電気系の学びを専門的に勉強した人にしかできない仕事につながっています。その学びの磨き方は、より専門を深く学ぶことや、コミュニケーションなど別の学びと組み合わせることなどが考えられますね。

まだまだ、成長できるぞ！荒工生！ **「未来を創る！彩る！荒川工業」**